



2015年9月30日

東京都知事 舛添 要一 様

公益社団法人 日本建築家協会 (JIA)
関東甲信越支部 支部長
同保存問題委員会 委員長
同杉並地域会 代表



高井戸公園内 旧NHK富士見ヶ丘クラブハウス保存活用要望書

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。
貴職におかれましては日頃より文化の継承に理解を示されていることに敬意を表しますとともに、当会の活動に格別のご理解を賜り深く感謝申し上げます。

本年、都市計画公園高井戸公園の整備が開始され、5月に行われた工事説明会で既存建物の解体撤去の予定が提示されたことは聞き及んでおります。平成25年に東京都建設局から公表された「高井戸公園の整備計画」答申では既存建物の取り扱いなどの詳細は提示されておりませんでした。整備エリアに立地する建築史の中でも貴重な建物である「旧NHK富士見ヶ丘クラブハウス」が解体されることを危惧しております。

「旧NHK富士見ヶ丘クラブハウス」は高井戸公園の都市計画決定前の1954年に、日本のモダニズムを代表する建築家、前川國男の設計により建設されました。前川國男は東京都においても上野の東京文化会館、東京都美術館など多くの文化施設の設計を手掛けており、その自邸は江戸東京たてもの園で保存公開されています。

「旧NHK富士見ヶ丘クラブハウス」は前川國男設計の木造の建物として数少ない現存作品のひとつです。その意匠からは前川が戦前フランスで師事した、先日世界遺産登録を目指して国内作品の現地調査が行われた、建築家ル・コルビュジェの建築史上最も著名な概念のひとつである「近代建築の5原則」の影響が色濃く読み取れます。

建物は公園の東端に位置し、整備計画に描かれているスポーツ施設などの計画は全く阻害しません。伸びやかな外観は広々とした運動場のみどりの中で得難い景観をつくりだすとともに、外部空間と連続した人々が集うのにふさわしい内部空間を有しており、公園整備の方針として掲げられている「多様なみどりの景観づくり」や「台地の景を活かした魅力ある景観づくり」に合致し、さらに文化的な価値を大きく高めるものです。また、同建物は木造の2階建てであり、耐震性の検証や必要な場合の補強、耐久性の向上についての技術が確立されており、一般的に考えても保存活用にあたっての技術的に大きな支障はありません。

ここに、近代建築史上貴重であり、公園の整備に資することができる「旧NHK富士見ヶ丘クラブハウス」の保存活用を要望させていただきます。なお、公益社団法人日本建築家協会関東甲信越支部、同保存問題委員会、同杉並地域会は高井戸公園における「旧NHK富士見ヶ丘クラブハウス」の保存活用について、出来る限りの協力をさせて頂く所存であることを申し添えます。

敬具